

奨励賞



喜多主税

設計者

喜多主税

大阪府建築士会、(株)日建設計

共同設計者

若林 亮

大阪府建築士会、(株)日建設計

高木 研作

大阪府建築士会、(株)日建設計

事務所

大阪府大阪市

大塚グループ大阪本社 大阪ビル

構造・階数

鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
地上11階、地下1階、屋上1階

敷地面積

2,432.32㎡

建築面積

861.10㎡

延床面積

7,254.71㎡

竣工

平成26年2月15日



A



B

選評

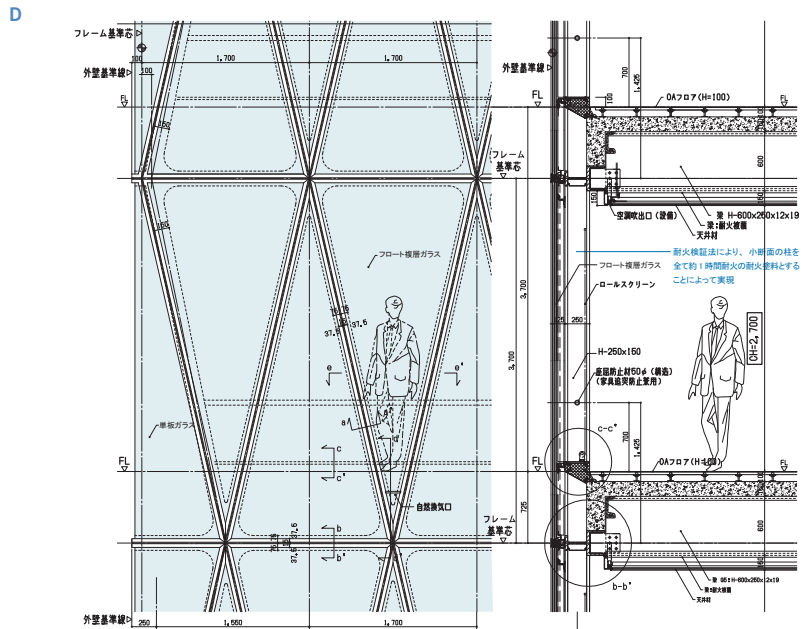
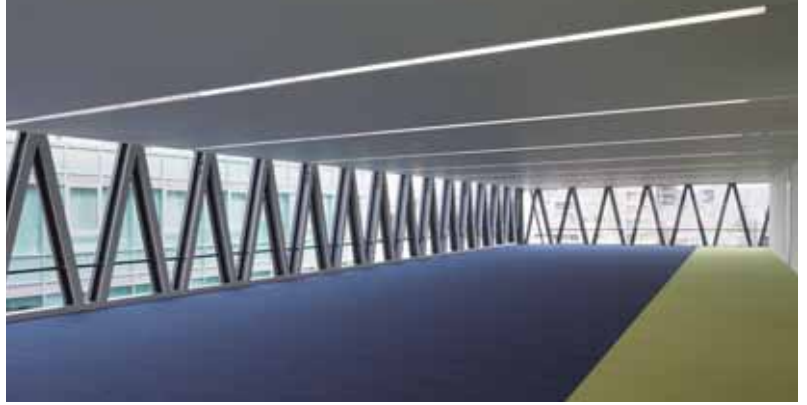
H型鋼を縦長の三角形に組んだ繊細なトラス構造を主構造として、トラス部材をそのままカーテンウォールと一体化させたファサードのデザインが特徴的なオフィスビルである。トラスのサイズは、H型鋼の強度とカーテンウォールのガラスサイズとのモジュラーコーディネーションによって決められている。大阪市内のメインストリートの角地に建ち、2面道路と奥の駐車場に面した3面ファサードが、このトラス構造+カーテンウォールによって覆われている。

敷地はL字形で、トラス構造で囲んだ長方形平面を主要なオフィス空間とし、駐車場側にエレベーターホールと階段室と共用空間、その奥にトイレを配置し、さらに奥の低層部に平屋の社内保育所を設置している。このため、主要道路側のファサードはトラ

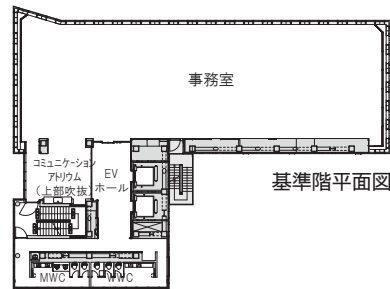
ス三角形で統一されているが、駐車場側から見ると、トラス・カーテンウォールのオフィス、グリッド・カーテンウォールの共用部分、アスロック・カーテンウォールのトイレ棟、ガラスブロックとRC打放しの保育所という4つの機能が、そのままファサードに表現され、ややチグハグな印象を受ける。将来、駐車場を挟んだ隣地に増築棟が建設され、共用空間とブリッジで結ばれた時には、このような印象は解消されるかもしれない。

室内はコンパクトなスケールの快適なオフィス空間で、会議室は斜めのトラス材に合わせた緩やかな曲面によるアルコーヴとしてデザインされている。大規模ではないが、近未来を見据えた優れたオフィスビルといえよう。

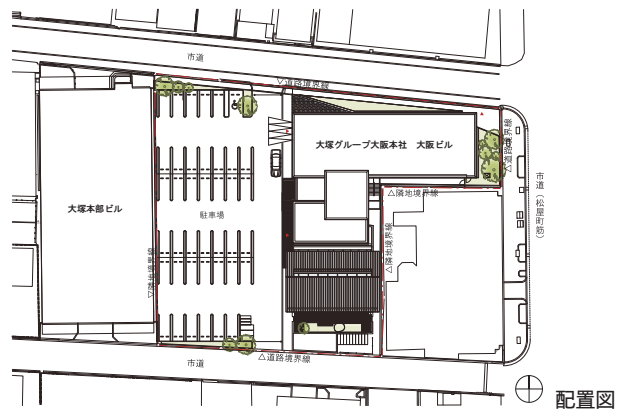
(難波和彦)



トラス・カーテンウォール詳細図



C



E



F

G

- A 陶板壁が出迎えるエントランスホール
- B 2層吹抜けのコミュニケーションアトリウム
- C 松屋町筋側から見る東側外観
- D 柱型の出ない整形で使いやすいオフィス空間
- E オフィス・コミュニケーションアトリウムまで視線が広がるEVホール
- F スリット窓から光が差し込むトイレ
- G 三次元曲面の楕円形会議室

写真... Kouji Okamoto